



登校後、すぐに勉強 — テストに向けた意識が高まってきました。(2月4日 朝 2の1)

先週末に学年末テストの範囲が出されたと思ったら、昨日は第2回学力テストの範囲まで…。今週一杯は「ま☆ナビ」学習もあるし、頭を抱えている生徒もいるかもしれません。

複数の課題や目標がある場合は、優先順位をつけ、どこに焦点を当てて学習していくかが大切になってきます。(※学年通信No.102参照)

中学校の学びの総復習である「ま☆ナビ」は、3年生半ばまで続く長期戦と言えます。すぐに成果が出るとは限りません。自分に合った基礎学習を続けることで、これからの学習を下支えする力をつけ、伸ばすものと考えてください。

学習に専念してほしい2月ですが、心配なのが学習時間です。2学期末の三者相談で聞こえてきたゲームやスマホ時間の多さ。未だに学習時間を侵食していないでしょうか。昨年末に公表された県調査でも、小中学生のゲームやSNSに費やす時間の多さが指摘されていました。

先日、ある生徒に平日のゲーム時間を聞いたところ「2時間」という答えが返ってきました。「そのうち、家の人怒って、ゲームやスマホを取り上げてしまうかも。」こう話す私に、その生徒は真顔で「それは困る…。」

では、どうしていけばいいのでしょうか。

優先順位

中学生とスマホ・ゲーム⑥

—「ゲーム障害」～低年齢化が心配—

2年前の新聞(朝日新聞 be H31.1.26)に、「ゲーム障害」に関する記事が掲載されていました。その概略を紹介します。(2年前でこうです。今の現状は……。)

ゲーム障害(ゲーム依存)とは

スマホなどのゲームにのめり込み、日常生活に支障をきたす症状が、「ゲーム障害」として、世界的に「病気」として認められました。

(※下記の判断基準を参照)

ゲーム依存の人の脳

ゲーム依存の人の脳は、理性をつかさどる前頭前野の働きが大きく低下するなど、薬物など他の依存とよく似た状態になるそうです。ゲームを続けるのは、本人の意志が弱いからでなく、治療が必要な病気にかかっていると理解しなければなりません。

ネット・ゲーム依存の低年齢化

□国内のある心療内科医が、この2年で依存と診断した小学生から高校生は110人、うち小学生が23人とし、次のような実態を紹介しています。小3男＝深夜までゲームをしていることを母から注意され暴力を振るい警察沙汰になる。小4兄と小1妹＝両親の財布から多額のお金を盗み、ゲームソフトを購入する。中1男＝親のクレジットカードを使い、1か月で課金アイテムに20万円をつぎ込んだ。□通院患者の改善率は17%と低く、依存のまま通院しなくなる人が多いそうです。

ネット・ゲーム依存症の判断基準

(5つ以上当てはまると、依存の疑い)

- 1. ネット・ゲームに夢中になっている。
- 2. 取り上げられると切れたり、暴言や暴力が出る。
- 3. ネット・ゲームをする時間が増えていく。
- 4. やめようと思っても、やめられない。
- 5. ゲームやスマホ以外のことに興味がわかない。
- 6. しすぎると悪いと分かっているにもかかわらず続ける。
- 7. ゲームをしていることについて、ウソをついたことがある。
- 8. イヤな事を忘れるためにしてしまう。
- 9. 学校や部活を休んだため、友人関係を失ったりしたことがある。

(米国精神医学会の基準から、増田彰則医師作成)

ネット依存を防ぐには

1. 購入は親の名義で。子どもに貸す形に
2. ルールは親子で一緒に決める
3. 使う場所を決める
4. 使う時間帯を決める
5. 使う金額を決める
6. ルールは書面に残す
7. 家族もルールを守る

(久里浜医療センター院長による)



【学年目標】 ■自ら判断し行動できる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
 ■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持つ生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
 電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338